

2004.7

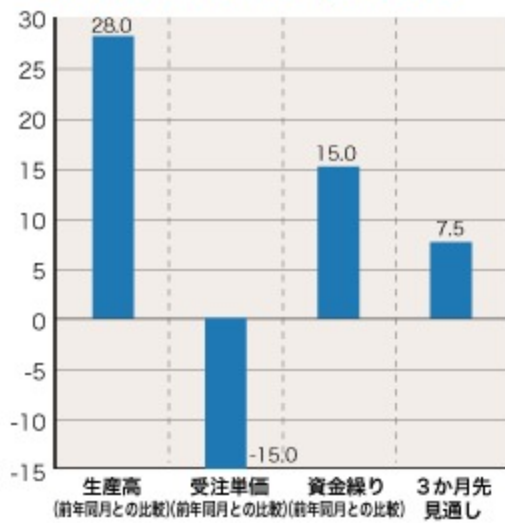


対前年同月比

全業種での生産高は依然としてプラス、受注単価はマイナスとなっており、前回調査結果（5月末時点）と数値的にもほぼ同じ結果となっている。また、3か月先見通し及び資金繰りについてはプラスとなっており、総じて良好な稼働状況であることが見受けられる（グラフA）。

また、業種別で見ると、依然として「縫製」以外の業種における生産高はプラスとなっており、且つ、「縫製」のマイナスポイントも前回調査結果と比較すると小さくなっている。しかしながら受注単価については、「鉄鋼・非鉄」でプラスになっている以外は全業種でマイナスとなっており、依然として上昇する気配は感じられない。また、資金繰りについては全体的に良好な結果が続くこと数回の調査結果を受けて、D I 値のプラス幅も伸びてきている（グラフB）。

■全業種の受注動向（グラフA）



3か月先見通し

「プラスチック」「縫製」「電気機器」で若干のマイナスが見られるものの、その他の業種については、引き続き良好な状態が維持できる見通しとなっている（グラフB）。

■業種別の受注動向（グラフB）

